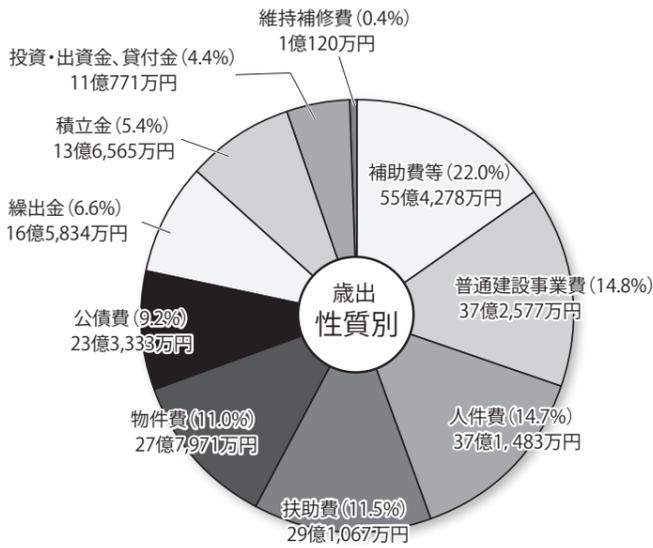
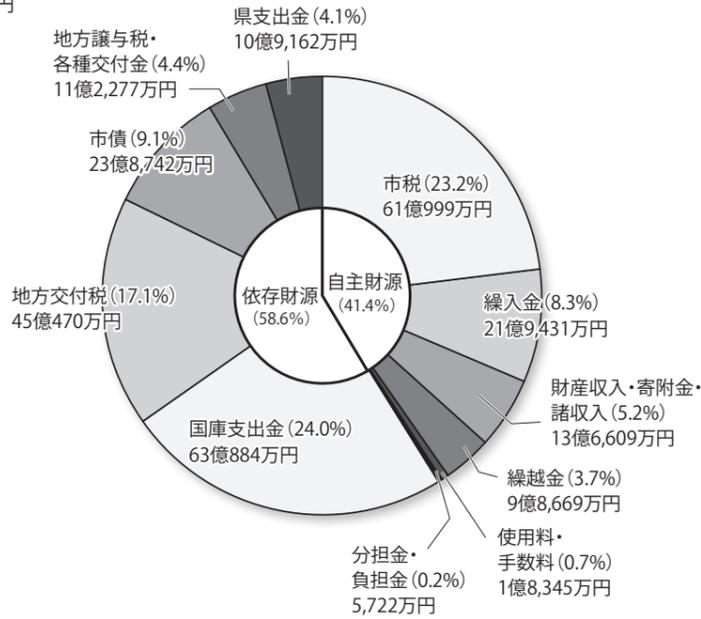
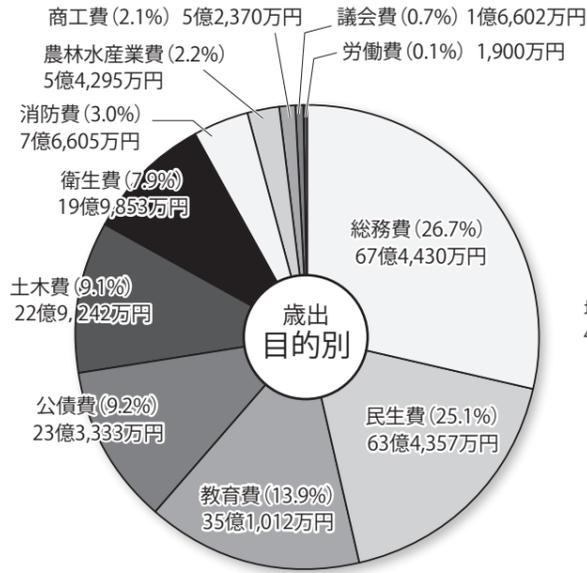


# 普通会計（一般会計）の内訳

歳出 252 億 3,999 万円

歳入 263 億 1,310 万円



## 市民1人当たりの歳出額

■市民1人当たりに使われたお金 **683,844 円**



※普通会計の歳出が1人当たりいくらかになるのかを R3.4.1 現在の人口 (36,909 人) で算出しています。

歳入全体は、前年度と比べて 56 億 5,453 万円 (27.4%) の増額となっています。これは、特別定額給付金給付事業の国庫補助金の増加や小学校・幼稚園の大規模改修事業の地方債の増加が主な要因となっています。

歳出全体では、前年度と比べて 55 億 6,812 万円 (28.3%) の増額となっています。特別定額給付金給付事業などの補助金や小学校施設整備事業などの普通建設事業費の増加が主な要因となっています。

令和2年度の歳出を目的別に分類してみると、特別定額給付金給付事業などの総務費が全体の 26.7% と最も多くを占めています。市債の返済である公債費は 9.2% となっています。

また、性質別に分類してみると、補助費等が全体の 22.0%、普通建設事業費が 14.8% となっています。

令和2年度瀬戸内市会計決算とは、令和2年4月1日から令和3年3月31日までの瀬戸内市の収入と支出の実績のことです。昨年度、どのくらい収入があり、市のまちづくりなどにどのように使われたのか、決算の概要から市の財政状況をお知らせします。

# 令和2年度 瀬戸内市会計決算

### 普通会計決算の概要

決算額は黒字  
財政調整基金は減少

令和2年度の市の普通会計（一般会計）の決算額は、歳入 263 億 1310 万円に対し、歳出 252 億 3999 万円、令和3年度へ繰り越した事業の財源を差し引いた

### ▽会計別決算

区分	歳入額 万円	歳出額 万円	差引額 万円	
一般会計	2,631,876	2,524,565	107,311	
特別会計	国民健康保険	401,820	401,764	56
	国民健康保険診療施設装置診療所	2,627	2,607	20
	介護保険	437,261	423,876	13,385
	後期高齢者医療	59,137	59,104	33
	土地開発事業	4,002	1,016	2,986
	企業団地造成事業	16,739	8,496	8,243
	計（一般会計・特別会計）	3,553,462	3,421,428	132,034
事業会計	病院事業会計	185,583	185,667	△ 84
	水道事業会計	102,758	88,491	14,267
	下水道事業会計	90,697	126,352	△ 35,655
	計（事業会計）	379,038	400,510	△ 21,472

※事業会計については、収益的収入および収益的支出を計上しています。

### ▽財政健全化判断比率など

指標	市の比率 %	早期（経営）健全化比率 %	財政再生比率 %	
経常収支比率	82.0	—	—	
財政健全化判断比率	実質赤字比率	—	13.14	20.00
	連結実質赤字比率	—	18.14	30.00
	実質公債費比率	8.6	25.0	35.0
	将来負担比率	36.2	350.0	—
資金不足比率（公営企業会計ごと）	—	20.0	—	

※「—」は、該当なしを表しています。

### 財政指標

経常収支比率はやや改善  
財政健全化判断比率などは基準をクリア

代表的な財政指標のうち、財政構造の弾力性を判断するための経常収支比率は、82.0%

と0.9ポイント低下しました。これは、普通交付税などが大きく増加したことが主な要因となっています。また、財政健全化法に基づく指標は、いずれも財政の早期健全化が義務付けられる基準を下回っています。実質公債費比率は8.6%と少し改善し、市債発行について県の許可が必要となる18%以下を維持しています。

### 今後の財政計画

市では、将来の財政状況を見通し、中・長期的な視点に立って財政運営を行うため、今後5年間の財政計画である「瀬戸内市中長期財政計画（令和3～8年度）」を策定しています。詳細は、市ホームページに掲載していますのでご覧ください。

### 困窮対策

0869-22-3905  
HP <https://www.city.setouchi.lg.jp/>